

創業計画書	総事業費	必要資合計	自己資金等	借入等
-------	------	-------	-------	-----

経歴 単に略歴を記載するのではなく、創業する業種や、その内容との関連性、又は経験値など、それがどのように創業に活かされるのかなどの面から経歴をまとめます。

企業名	店舗などがある場合は店舗名(屋号)も記載します。	創業時期	余裕を持って設定します
		個人/法人	創業の形態
住所	やろうとしている事業に適した場所か	TEL	
		FAX	

代表者		生年月日		年齢	
-----	--	------	--	----	--

資本金	個人の場合は自己資金	従業員数	代表者、役員は除きます	業種	
-----	------------	------	-------------	----	--

営業時間	具体的に設定	定休日	具体的に設定	面積	坪又は㎡	決算月	個人は12月
------	--------	-----	--------	----	------	-----	--------

事業内容	事業内容をカテゴライズして記載します。 (例)店内飲食 (例)テイクアウト販売 (例)キッチンカーでイベント出店 (例)オリジナル商品の販売	事業内容や営業内容、営業品目や商品のカテゴリ別など、売上を創業業種に合ったカテゴリをして、全体の売上に占めるそれぞれの売上構成(割合)を記載します	売上構成	区分	%
				(例)店内飲食	80%
				(例)テイクアウト	10%
				(例)イベント出店	7%
				(例)物販	3%
		合計	100%		

株主構成				人員体制			
氏名	関係	株数	%	氏名	年齢	職務	給与/月
個人の場合は自分自身				具体的に。予定ではなく、出来る限り確定のレベルで整理			
法人の場合1株当たりの金額に定めはなく1株5万円などが多い							

仕入先			販売先		
商品	取引先	サイト	商品	取引先	サイト
具体的に		仕入→支払までの期間	具体的に		販売→入金までの期間
確定のレベルで			確定のレベルで		

資金の計画					
必要な資金		金額	資金の調達	金額	
設備資金	創業時に必ずしも必要か?		自己資金等	・自己資金 総事業費の 1/3~1/2	
	要見積書			・親	
	保証金は設備資金に入れます			・友人、知人	
計			計		
運転資金	月額経費の3~6ヵ月分		借入等	予定する金融機関名	
				想定する利率と返済年数	
計			計		
必要資金の合計		設備+運転	資金調達の合計		自己+借入

ターゲット	誰に(ペルソナ)		コンセプト	何を(どのような価値や意味を)			
取扱商品と価格	主力商品	価格	定番商品	価格	オリジナル商品	価格	備考
	メインに訴求するものや売りのもの		創業業種にとっての鉄板なもの		独自のもの		

マーケティング	店づくり
	創業前の営業関連(営業活動、PR、広告宣伝等)の活動内容
	創業時の営業関連の活動内容
	創業後の営業関連の活動内容
	売上構成のカテゴリ毎の営業関連の活動内容

ストログポイント	自社独自、自社固有の差別化の内容
----------	------------------

	当初/月	1年目/月平均	2年目/月平均	%	根拠
売上高	当初3カ月の平均	1年目=当初×伸び率%	2年目=1年目×伸び率%	100%	売上の算定ロジック 客数×客単価など
売上総利益					業界の標準指標(日本政策金融公庫HP「小企業の経営指標」)
役員報酬					個人の場合はなし。役員報酬に準じるものは「利益」
人件費					従業員の給料と法定福利費 過大ではないか
家賃					
その他					主な積算内容 借入金の利息=借入金×利率÷12ヵ月
経費合計					
利益					「利益」=「売上総利益」-「経費合計」
返済					

準備期間	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
現金預金	前月繰越金									
借入金	現金									
その他	その他									
開業資金計	収入計									
設備	仕入									
仕入	経費									
	返済									
その他	その他									
支出計	支出計									
差引(繰越)	翌月繰越金									